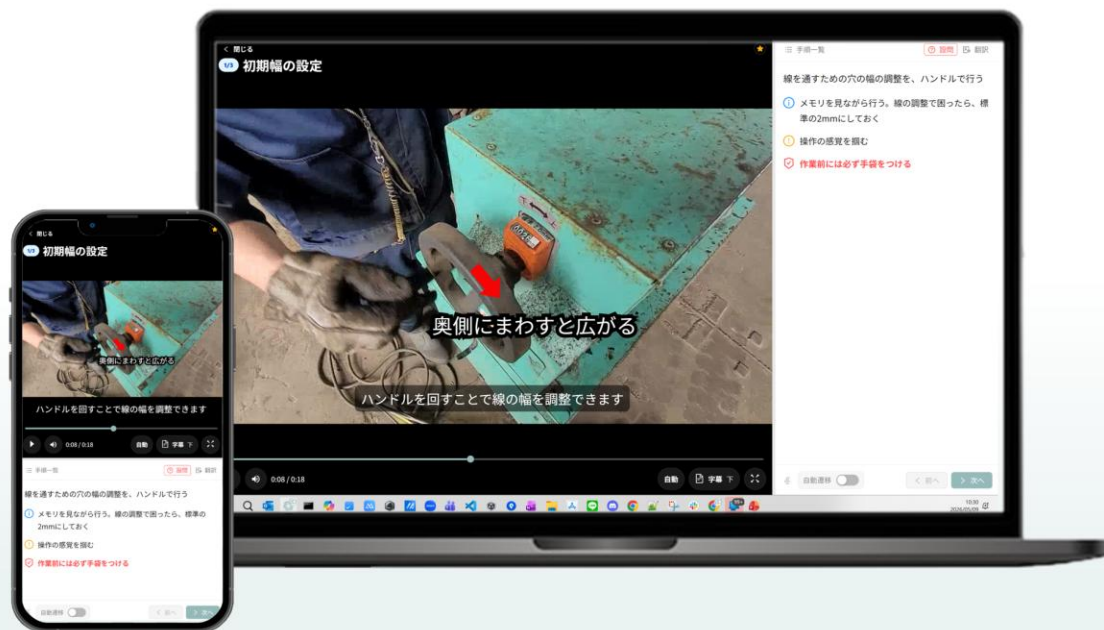




Dive

再生されるだけの動画から 現場で「ひとりで解決できる」 動画手順書へ



会社紹介



ミッション

多様な人材が活躍する基盤をつくる

会社名	エピソテック株式会社（東京、設立2020年）
事業内容	1. 動画・AR手順書システムDiveの企画 / 開発 / サービス提供 2. Diveを活用したDXコンサルティング
調達実績	福井コンピュータHDのCVCより 2023年11月に3,000万円調達
第三者認証	ISO/IEC 27001:2022 (ISMS)
特許	3件（作業動画編集システム、動画編集プログラム及び記録媒体）

代表取締役



内藤 優太

横河電機にて、xR技術を活用した技術伝承ソリューションの新規事業開発をリード。
現場の課題を起点とした事業構想力を持つ。



解決する現場の課題

① 何を手順化すべきかが決まらない

標準がベテランの頭の中。何を作るか場当たりりで整備が続かない

② 作っても、現場で使われない

マニュアルは作ったが再生して終わり、結局ベテランに聞く

③ 効果が見えず改善もDXも回らない

見られた・受講したままで、ROIと現場の変化が見えず改善が切れる



「作って配る」道具では構造的に解けない — 使われ・測り・改善が“回る”仕組みが要る

Diveによる解決アプローチ

“再生されるだけの動画から現場で「ひとりで解決できる」動画手順書へ”というコンセプトを持った現場向け動画マニュアル作成・共有システム

■ 特徴

1. 手順ごとに分割して、必要箇所だけ引ける

通し動画ではなく、ステップ単位で頭出しできる形式にする。

2. コツ・勘どころを言葉で添える

映像だけでは伝わりにくい暗黙知を、各手順に短く補う。

3. 陳腐化させない更新性

内容が古くならないよう、撮り直し・差し替えが手軽にできる。

4. 使われているかを可視化

閲覧状況を計測し、使われていない手順を改善し続ける

5. 現場の「欲しい」から整備が回る

現場が欲しい手順書を投稿。使われる手順書だけが増え、“作って終わり”を防ぐ。



■ 現場での活用フロー（使われて育つ循環）

1

撮る

ベテランの作業を撮影。発話不要、ただ撮るだけで素材になる

2

整理する

AIが章立て・テキスト化・暗黙知抽出。
作業/コツ/注意/安全を構造化テキストで蓄積

3

現場で使う

ステップ単位で参照、反復利用が定着を生む。
月次でROI/活用を可視化し、稟議の継続根拠に

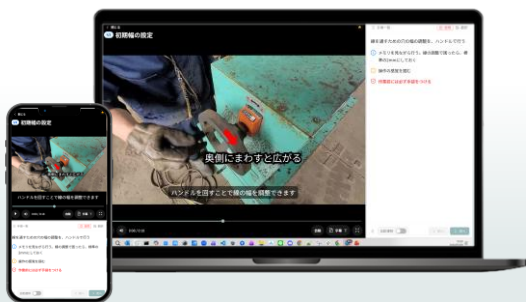
4

測って改善

活用/ROIを可視化し、低参照・つまづきを改善。次に「欲しい」手順書へ

→ 4から1へ。使われて育つ循環（PDCA）として回り続ける

実績



現場系事業者向けの 動画・AR手順書システム

再生されるだけの動画から
現場で「ひとりで解決できる」動画手順書へ

登録企業

受賞歴

共創採択

700+

社 (無料プラン含む)

製造・機械サービス
物流・建設・病院・大学



自治体：4件



徳島県



東京都5G



山梨県



品川区

事業者：3件



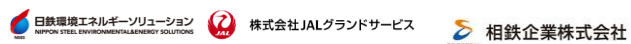
佐川グループ



相鉄グループ



古野電気



他者ツールとの比較

動画マニュアル/手順書ツールを設計思想で4タイプに分類した場合の比較

	 Dive (現場支援型)	通し動画型	ステップ構造型	動画整理型
コンテンツ形式	ステップ別の手順書	通し動画	ステップ構造	動画+目次
想定利用シーン	現場支援 (作業中)	事前教育 (研修)	ステップ参照	動画整理
AI動画解析 (暗黙知抽出)	◎	△	○	×
ノウハウ構造化テキスト	◎ 作業/コツ/注意/安全	×	△	× 動画整理が主
AR / スマートグラス対応	◎ 8機種以上	×	×	×
条件分岐機能	◎	×	×	×
教育管理 (コース)	○	○	○	○
育成管理 (スキルマップ)	◎ 閲覧履歴連携	○	×	×
現場起点の需要集約 (欲しい手順書を投稿)	◎ 投稿・完成通知	×	×	×
作業分析 (IE時間分析)	◎ 要素分解/標準時間/ECRS改善	×	×	×
教育コース・設問 (事前学習/到達管理)	◎ コースで束ね到達管理+完走判定	△ 簡易テスト	△ クイズ機能	×
多言語自動翻訳	◎ 192言語	○ 100言語級	○ 20-30言語級	△ 10-12言語級
オフライン再生	◎ ブラウザでも可。専用アプリも有	○ ブラウザ可	△ 専用アプリ必用	△ 専用アプリ必用
外部出力	◎ MP4 + PDF + Excel + PowerPoint	○ MP4出力	△ PDFのみ	× ステップ動画のみ
最小料金プラン	◎ Lite ¥10,000/月~	△ 中~大企業向け	△ 中~大企業向け	△ 中~大企業向け
無料プラン	◎ あり	×	×	×
有償プラン終了時の取り扱い	◎ 保持	× (データ削除)	× (データ削除)	× (データ削除)

現場で迷ったその場で開かれ、ひとりで答えに辿り着く。「現場がほしい」手順書だから使われ続ける。
—それがDiveの動画マニュアル

※参考：製造業における作業手順の動画活用に関する実態調査（2026年6月）

導入しているも、87%が「動画を見ても先輩・同僚に聞くことがある」

動画を導入・経験している層(n=841)では、「よくある」「時々ある」の合計が87%でした。動画を整備しても現場の質問行動は大きく変わっておらず、「見れば自己解決できる」状態には至っていないことがうかがえます。

導入・経験層 n=841

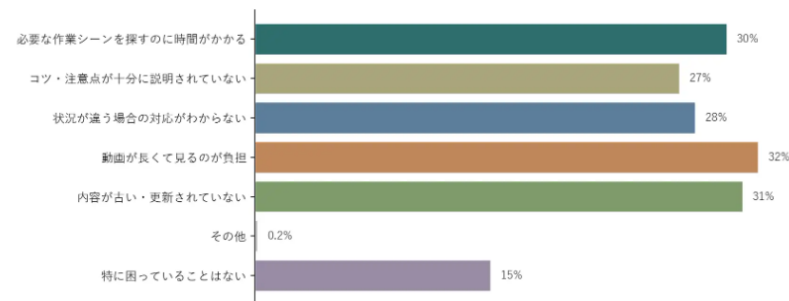


【設問】 その動画があっても、結局先輩・同僚に聞くことはありますか。（導入・経験層 n=841）

困りごとには一つに集中せず、複数の壁が各3割

動画活用の困りごと(複数回答・各項目の分母n=500)は、「必要な場面を探しにくい」30%、「コツや勘どころが伝わらない」27%、「自分の状況と内容が合わない」28%、「動画が長い」32%、「内容が古い・更新されていない」31%と、いずれも3割前後で拮抗し、「特に困らない」も15%でした。動画自体が無効なのではなく、複数の摩擦が同時に存在することが活用を妨げていると考えられます。

複数回答・本調査 n=500



【設問】 作業手順を教える動画について、あなたの実感に当てはまるものをすべてお選びください。（複数回答）（本調査 n=500）

通常の動画マニュアルだと、結局人依存が抜けず「作って終わり」の資産になってしまう恐れがあるが Diveはこのような失敗に陥らないための仕組みが揃っている

「現場支援」動画マニュアル

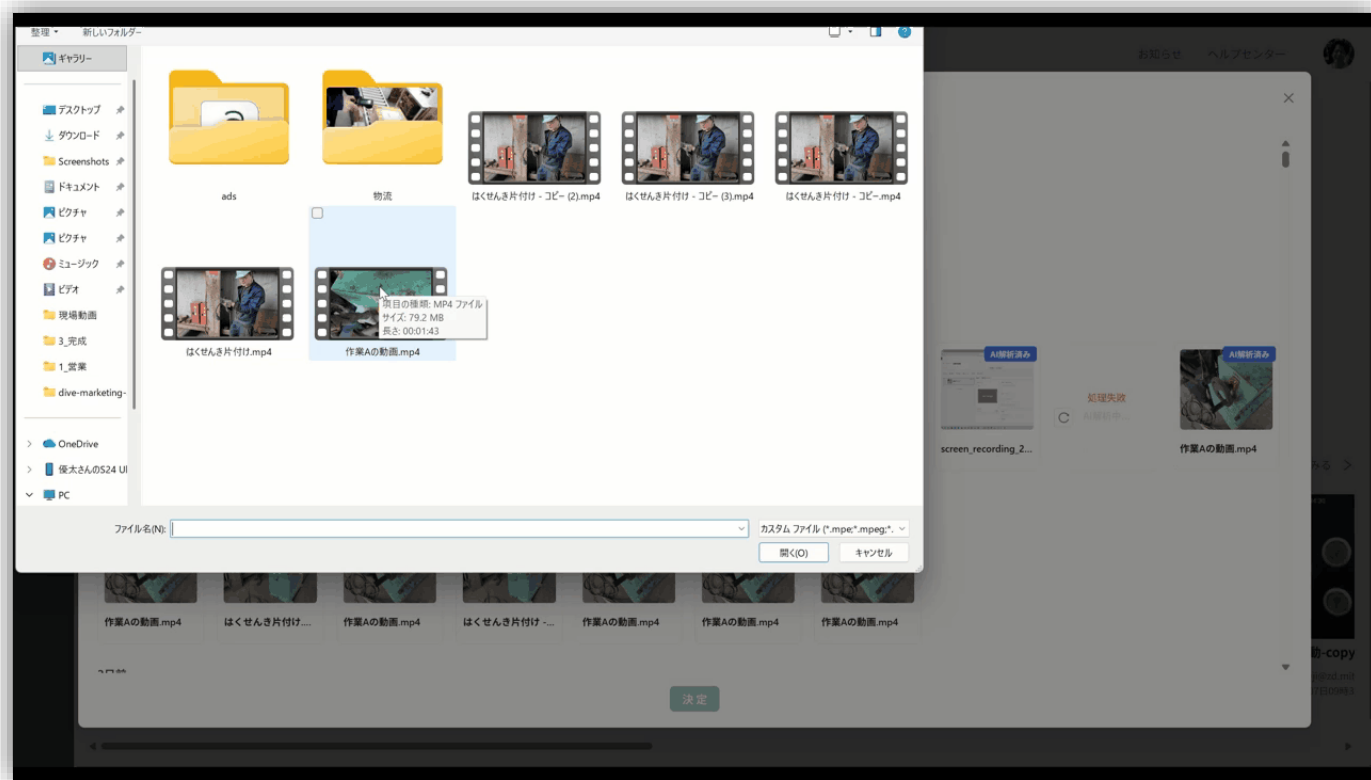
手順型 「動画+文章」で判断に迷わない

The screenshot shows a video player interface for a manual. The video title is 「1/3 初期幅の設定」. The video content shows a person's hands adjusting a device. A play button is overlaid on the video. Text overlays on the video read: 「奥側にまわすと」 and 「ハンドルを回すことで線の幅を調整できます」. The right sidebar contains a list of instructions: 「線を通すための穴の幅の調整を、ハンドルで行う」, 「メモリを見ながら行う。線の調整で困ったら、標準の2mmにしておく」, 「操作の感覚を掴む」, and 「作業前には必ず手袋をつける」. The bottom of the sidebar has a toggle for 「自動遷移」 and navigation buttons for 「前へ」 and 「次へ」.

<https://app.divedx.com/player/?map=0&token=ZGEtMjAyNjAxMjg5NzQ2MDAwMDAwMjY2ODM0NzI2NjgzNDc>

作成負荷低減【特許 × 物・動きを理解するAI】

VLM（動画を理解できる生成AI）で動画内の動き・物・音声を解析。手順の区切りを自動検出。しゃべってなくてもOK。



▶ 動画版を見る: <https://youtu.be/Qr7RmJFRyUQ>

AIが行うこと

- 手順分割
- 工程/手順/動作
- 手順名の生成
- 体系的に整理
- すべきこと、コツ、品質注意、安全上の重要事項
- 字幕の生成
- 冗長シーンのカット
- 注釈の挿入
- 設問の生成

先ほどのサンプルはこの動画とこの動画をつかって、AIが自動で編集した結果。
現場の負担を最小限に、継続的な手順書作成に期待できる。

7つの核機能



1. 動画＋文章＋設問。判断に迷わない手順書

迷ったその場で、ひとりで答えに辿り着ける

手順毎の動画と一緒に、判断基準・コツ・注意事項といったノウハウを文章で、そして「合っているか」を確かめる設問まで、すべてが手順毎にセット。条件分岐にも対応。

「動画 (動き) + 文章 (要点) + 設問 (定着)」 = 判断に迷わない、その人の実作業を支える、現場で使える手順書 になります。



■ ポイント

- 1ステップ = 動画 + 文章(コツ/注意/安全) + 設問 のセット
- 動画だけでは曖昧な判断基準を「文章」と「設問」で明確化
- 条件分岐 + 完走判定で「ひとり立ち」を支援



2. 見たい手順・字幕へダイレクトアクセス

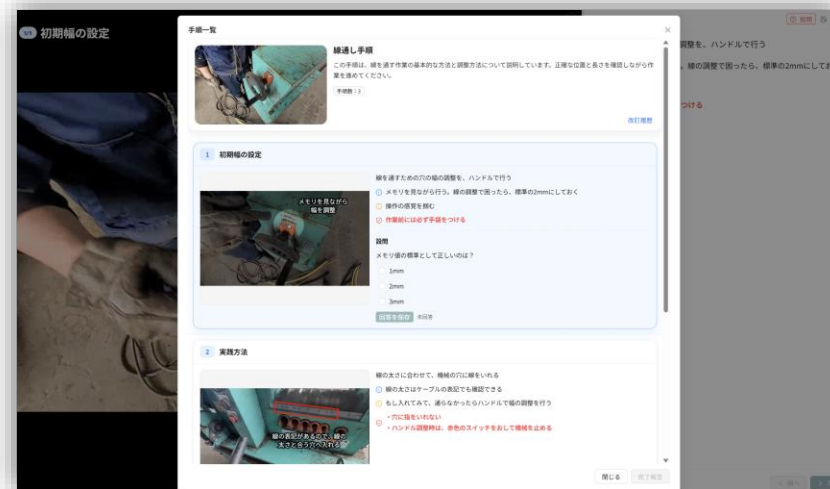
キーワードでも、AIへの質問でも。見たい手順へ最短アクセス

動画は通常、頭から再生して目的のシーンを探すしかありません。

Diveは手順タイトル・字幕・動画内テキストまでキーワード横断検索。

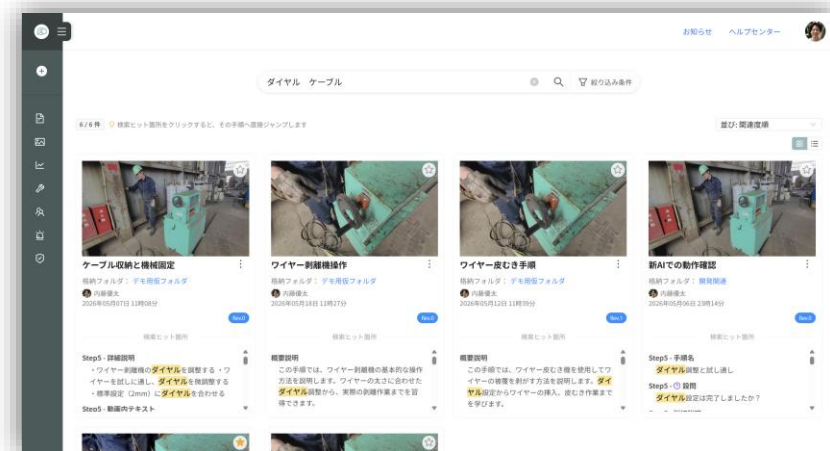
さらに「AI検索」なら、自然な言葉で質問するだけで意味を理解し、

該当する手順を提案します。現場の問いに、最短で答えを届けます。



■ ポイント

- 手順タイトル・字幕・動画内テキストまでキーワード横断検索
- AI検索：自然な言葉で質問→意味で理解して該当手順を提案
- 1ステップ=1ユニットで独立アクセス
- QR / ブックマーク / 履歴から1秒で目的の手順へ



3. 多様な人材が同じ手順書で動ける

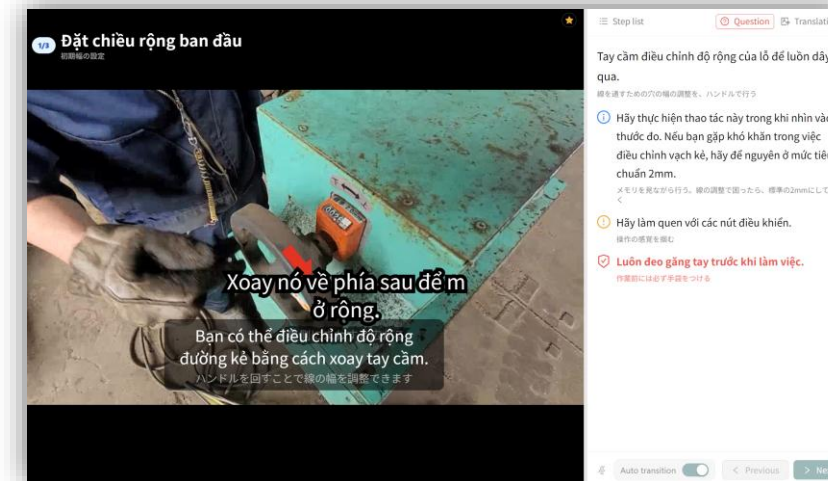
192言語の自動翻訳で、言語の壁を超える

閲覧者が言語を選ぶだけで、文章・字幕・読み上げまで自動翻訳。

技能実習・特定技能の人材から海外拠点の工場まで、誰もが、母国語で迷わず動けます。

原文併記モードでOJT時も安心。

エクセル・MP4といった外部ファイル出力にも対応。



■ ポイント

- 192言語の自動翻訳 (文章・字幕・読み上げ)
- 原文併記モードでOJT時も安心
- エクセル・MP4 など外部ファイル出力にも翻訳適用



4. ネットワーク弱くても止まらない手順書

ブラウザでもオフライン動作—PC・Windowsタブレットでも閲覧可能

事前読込・自動キャッシュ・最適画質配信で、
地下や屋外、海外拠点でも止まりません。

Windows タブレットやPCでも閲覧可能。

通信環境が不安定な現場・夜間・緊急対応シーンの自走力を支えます。

■ ポイント

- 事前読込・自動キャッシュでネットに左右されない
- 最適画質の自動配信 (現場の通信環境に応じて最適化)
- PC・タブレット・スマホ・スマートグラスすべて対応



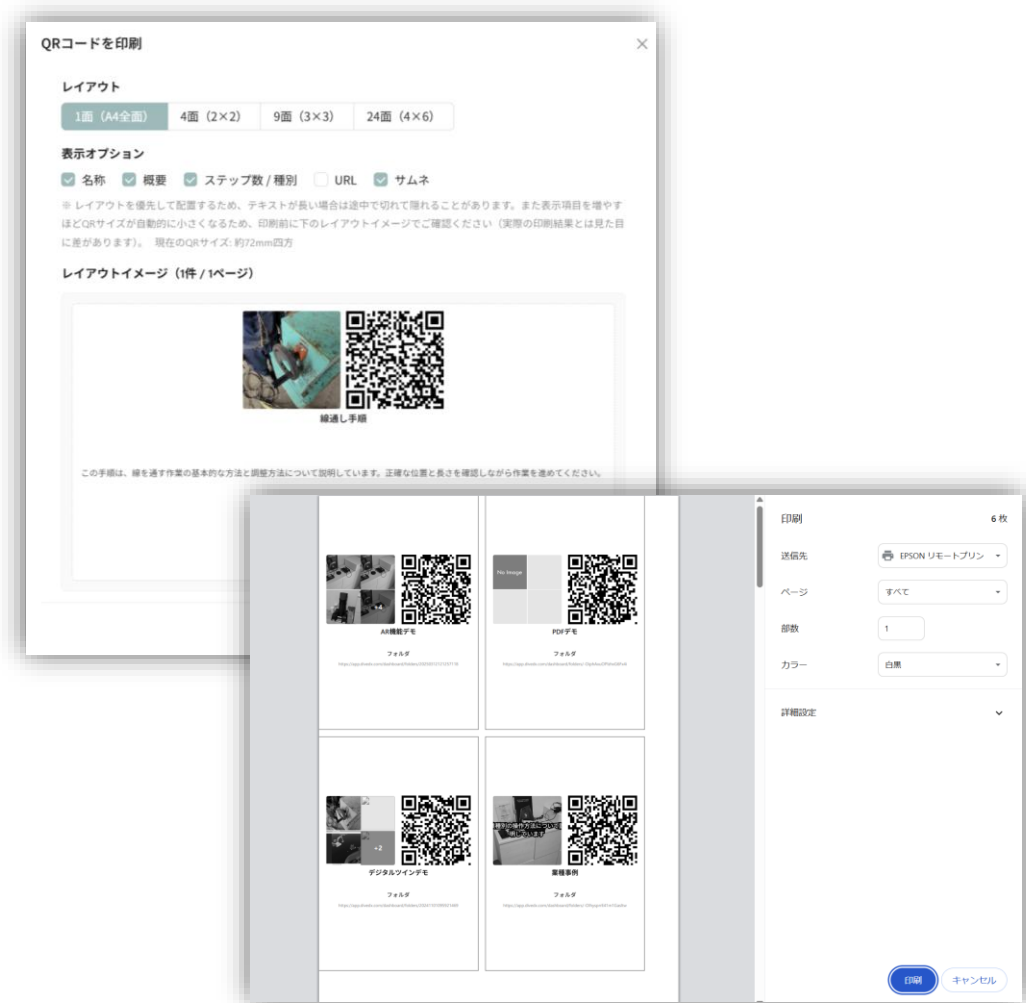
5. QRから即アクセス。印刷レイアウトも多彩

必要な単位でQRを発行。機械・工程・安全掲示板に貼れる

手順書・フォルダ・お気に入りなど、必要な単位でQRを発行できます。

機械や工程に貼る、安全掲示板に掲げる、冊子に載せる

印刷レイアウトも多彩。フォルダごとに複数の手順書を一括印刷も可能。



■ ポイント

- ステップ単位 / フォルダ単位 / お気に入り単位のQR
- 多彩な印刷レイアウト (シール・A4・冊子)
- 機械・掲示板・冊子から1秒で必要な手順へ

6. ARで現物理解、目の前で迷いが消える

動画＋文章で判断に迷わない。さらに要所はARで直感理解。

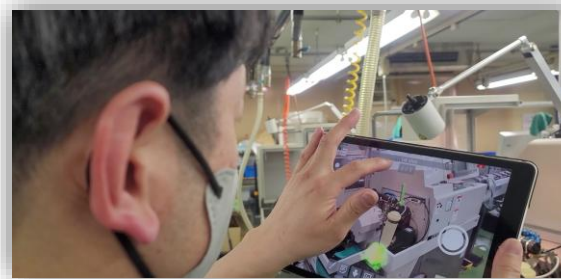
動画と文章だけでは伝わらない「どこ?」「どの方向?」をARで補完。
目の前の機械や設備に情報を直接重ねて、その場で「ここ」「これ」を示せます。
動画＋文章で詰まる場面でも、ARだから現物に答えが乗る。
スマホかARグラスのハンズフリーで。



▶ https://youtu.be/glmf_dzJ25k

■ ポイント

- 「どこ?」「どの方向?」を現物に直接重ねて補完
- スマホで作成・閲覧、ARグラスならハンズフリー
- 動画＋文章で詰まる場面でも、ARだから答えが乗る



▶ <https://youtu.be/wwopZDj4sog>

7. 現場の「欲しい」から、使われる手順書が育つ

作る前から“見られる理由”がある手順書だけが増えていく

現場の誰もが「こういう手順書が欲しい」を投稿し、同じものが欲しい人は「ほしい」で後押しできます。票が多い順に、本当に必要なものから作ります。

自分が声を上げた手順書だから、できたら見る。みんなが必要としたものだから、現場で使われる。

「作っても使われない」を、仕組みから無くします。

■ ポイント

- 閲覧者を含む全員が「ほしい」で需要を表明（実需要が可視化）
- 票数で優先順位 → 本当に使われる手順書から作る
- 完成で投稿者へ通知。声が形になり、現場の参加が続く



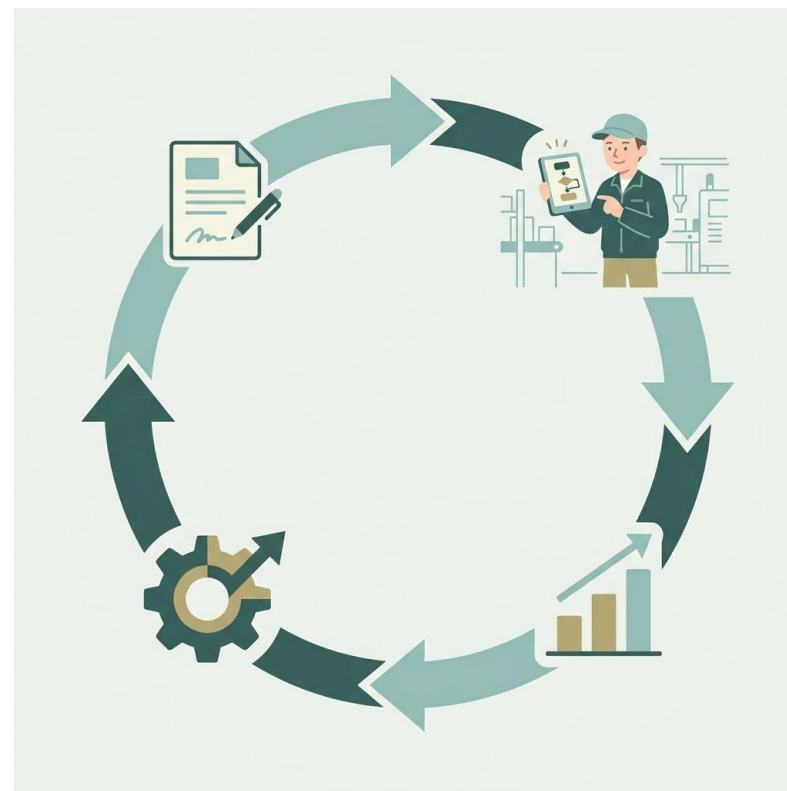
Diveは「回る仕組み」—使われて育つ好循環

機能は種別で並びますが、噛み合うと“使われて育つ”循環になります—Diveの全体像

- P：標準をつくる：欲しい手順書ボードで需要を拾い、作成計画で優先度をつけて整備。
- D：現場で使う・定着：手順ごとに引け、設問で自己解決。教育・締切りマインドで定着。
- C：効果を測る：活用レポート・点検記録・作業分析で「使われ方と効果」を可視化。
- A：改善して回す：低参照・つまずき・ムダを改善して標準を更新し、次のPへ。

■ ポイント

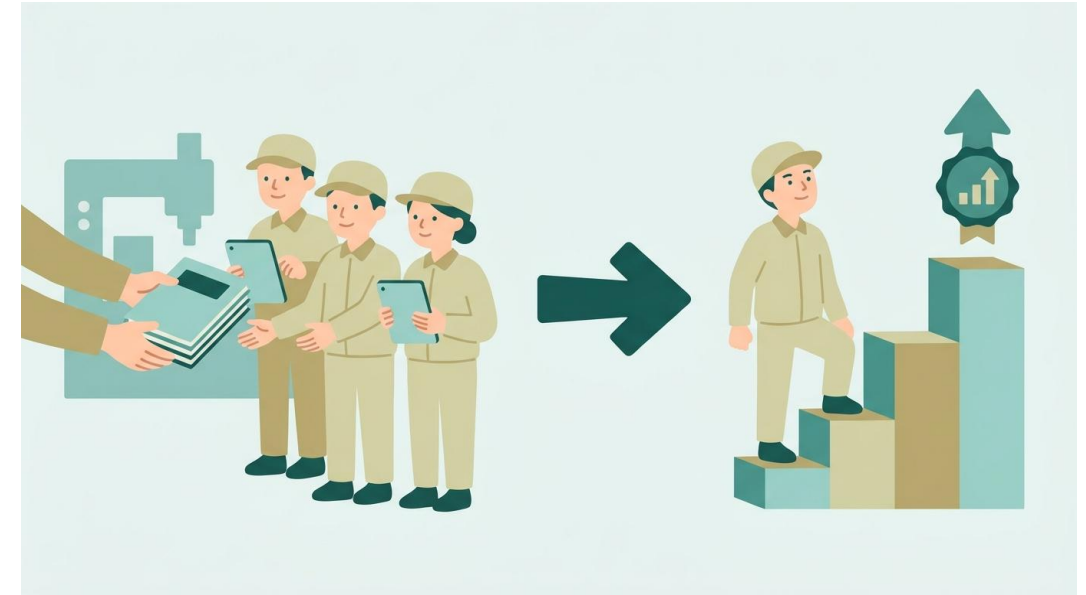
- 他社=作って配る「点」の道具/Dive=作る→使う→測る→改善が回る仕組み
- C→Aで測って直し、次に作るべきが見える=欲しい手順書ボードへ戻る
- 使われるほど育ち、人が変わっても回り続ける育成の資産に



Diveにおける教育・育成

教育・育成管理は、次の2レイヤーで役割を分けています

項目	教育（コース）	育成（スキルマップ）
ねらい	見てほしい手順書のセットを束ねて配布	その人の力量を評価・計画・記録
ゴール	手順書を閲覧・完了（コンテンツの消化）	長期にわたる人の成長を追う
対象	コンテンツ（手順書）	人（力量）



教育でコンテンツを配布して回し、育成で人の状態を可視化する。
動画手順書と連携できるので、現場支援から教育・育成へと自然につながる。

導入事例

実際の現場で、効果が出ています。製造業のお客様も同様の効果を多数得られております

リサイクル

 三木資源様



75%
作成時間削減

Before: 事務職がインタビュー形式で作成 4時間/個

After: ベテラン自ら作成可能になり 1時間/個

「とりあえず動画を撮影しておけばいいので手軽」

設備メンテナンス

 相鉄企業様




80%
作成時間削減

Before: 編集時間 5時間/個、長尺動画で誰も見ない

After: 編集時間 1時間/個、現場作業中に使われる

「別営業所からの応援者への即戦力化が楽になった」

物流

 佐川グローバルロジスティクス様



90%
教育期間短縮

Before: 教育は現場社員が都度対面

After: 動画手順書+スマホで代替

「教育内容の標準化も進んだ」

セキュリティへの取り組み

Diveを安心して利用いただくため、様々な角度からセキュリティ対策・運用を実施

第三者評価・実績

- ISO/IEC 27001:2022 認証取得 (2024年11月)
- Assured (第三者評価PF) 91.9点 / 全体上位25%
- 経産省『クラウドサービスレベルチェックリスト』
- 上場企業・大学への導入実績多数



認証・アクセス制御

- SSO (SAML 2.0 / Microsoft Entra ID OIDC)
- 2段階認証 (TOTP) / 全員必須化も可
- IPアドレス制限 (特定環境のみ許可)
- 段階的アクセス権限 (ロール × グループ)



データ保護・運用

- 全通信 HTTPS 暗号化 + DB/ファイル暗号化
- Google Cloud (東京リージョン) で動画保管
- 24時間365日 サーバー監視 / 自動バックアップ
- 監査ログ (ログイン・セキュリティ操作等を記録)



■ 動画解析AIは『再学習しない』設計 — 機密ノウハウを安心してAI解析にかけられる

- Diveの動画解析AIはGoogle Cloud Vertex AI (Gemini)を弊社管理GCPプロジェクト内で実行
- Google Cloudの契約に基づき、お客様データはAIの再学習に使用されません
- 業務手順という機密性の高いノウハウを、安心してAI解析にかけていただける設計

お客様のノウハウは、いつまでもお客様の資産

契約終了後も、積み上げた現場の知は消えない設計

「契約を切ったら全部消える」では、
せっかく積み上げた現場の知が無駄になる — そうしません。

自動 Free 移行

サブスクリプション終了後も、データは保持されたまま Free プランへ自動移行。
削除されず、いつまでもアクセス可能。

いつでも再開可能

必要な時にいつでも有償プランを再開
できます。
過去の手順書・コメント・スキルマッ
プを継続活用。

AI再学習に使われない

Vertex AI Gemini + Google Cloud 契約
により、お客様のデータがAIの再学習
に使用されない設計。

安心のバックアップ

すべてのデータは適時バックアップ。
万が一の障害でもデータ復元できる体制。

→ Dive は『お客様のノウハウは、お客様のもの』という方針を、運用設計で守ります

料金プラン

無料プランから始められます。全プラン共通: 手順書数・ストレージ無制限

Free	Lite	Core	Pro おすすめ	Enterprise
まず1人で試す (1名)	チームで配って使う (10名)	教育の質を測る (25名+ゲスト75)	本格運用・現場改善 (50名+ゲスト150)	全社展開・ガバナンス (100名+ゲスト300)
¥0	¥10,000	¥25,000	¥50,000	¥100,000
/月	/月	/月	/月	/月
<ul style="list-style-type: none">✓ 動画・AI処理 各1件/日✓ 基本の手順書作成・閲覧✓ IPアドレス制限 / 2要素認証✓ メールサポート	<ul style="list-style-type: none">✓ Free の全機能✓ 動画・AI処理 各5件/日✓ QRコード発行 / 外部共有✓ MP4出力✓ メールサポート	<ul style="list-style-type: none">✓ Lite の全機能✓ 動画・AI処理 各10件/日✓ 教育管理 (コース・スキルマップ)✓ 設問✓ グループ管理✓ PDF・Excel出力	<ul style="list-style-type: none">✓ Core の全機能✓ 動画・AI処理 無制限✓ AR機能 / 条件分岐✓ 作業分析 (IE・標準時間)✓ 承認フロー (内部統制)✓ 文章校正AI / PowerPoint出力✓ Zoomサポート + 導入コンサル	<ul style="list-style-type: none">✓ Pro の全機能✓ グループ階層 無制限✓ チーム共通スキル管理✓ 遠隔支援 (現場×事務所)✓ SSO / 全社ガバナンス対応✓ Immersal API連携✓ 専任サポート

■ 全プラン共通: 手順書数・ストレージ無制限 / 年間契約・四半期契約あり

■ 詳細比較表・公開ROIシミュレーター: <https://divedx.com/ja/pricing>

検討フロー / お問い合わせ

まずは無料プランで体感 → 必要に応じて上位プラン無料トライアル

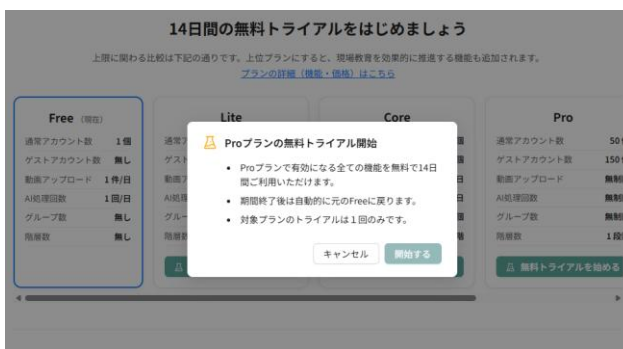
① 期限なし / 無料プラン開始



申し込み・設定はWebで完結。5分で開始！

[申し込みページはこちら →](#)

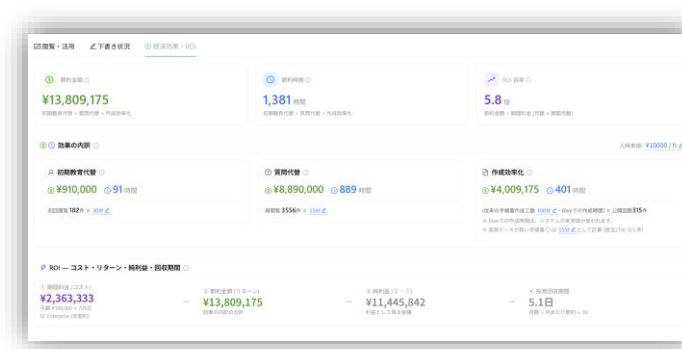
② 有償プラン / 14日間無料トライアル



タイミングを見て、各プランそれぞれ14日間可。じっくり試せる。

[トライアル開始方法はこちら →](#)

③ 導入判断



活用レポートで効果を可視化 → 導入による投資対効果の判断材料に

[活用レポートについてはこちら →](#)

■ お問い合わせ

Web <https://divedx.com/contact>

Mail customer-success@episotech.com (Dive カスタマーサクセス)

スマホで読み取り
→ Free登録 (5分)

<https://app.divedx.com/signup>



多様な人材が活躍する基盤をつくる



<https://www.episotech.com/>

稟議に使える試算、AR（拡張現実）や作業分析等の機能詳細などは下記ページからダウンロードいただけます。

[資料出力ページ](#)